

年 組 名前：

モルモット 人に慣れてね

休園の市立動物園 ボランティアがケア



三枝 大悟
杉原みずき



モルモットに餌を与えるボランティア＝甲府市立動物園

2027年度の再オープンに向けた改修工事のため休園中の甲府市立動物園(秋山多江園長)は、ボランティアによるモルモットの触れ合い活動を始めた。22年10月から続く長期の休園の影響で、人間に対する警戒心が強いモルモットが増えてい

ることから、ケアを担ってもらう。初回となった今月14日は、ボランティア2人が参加。同園の木村藍獣医師が「人間からもらった餌を食べた後、『怖いことは何も起きない』とモルモットに理解させることが大切」などと説明。警戒するそぶりを見せる20匹の若いモルモットに対し、安心するように優しく名前を呼びながらキヤベツを差し出して食べ



QRコードから動画を
見られます

20匹のモルモットは、再オープン後の触れ合い体験で中心的な存在になるという。木村獣医師は「初回は警戒して餌を食べないモルモットもいた。どのぐらいのペースで人間に慣れていくか見守りながら活動を続けた」と話している。

ボランティアには計10人の市民が参加予定で、3月までに週3〜4日のペースで触れ合い活動を実施する。初日に参加した同市伊勢4丁目の中沢卓夫さん(70)は「動物が好きなので楽しい。モルモットたちに早く慣れてもらえるように頑張りたい」と話していた。

(2025年1月23日付 山梨日日新聞 17面)

問1 休園中の甲府市立動物園が、モルモットの触れ合い活動を始めた理由を教えてください。

.....

問2 動物園の獣医師は、モルモットに何を理解させることが大切と話していますか。

.....

問3 ボランティアの人は、どのようにして何を食べさせましたか。

.....